

# 予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：教育費 項：大学費 目：情報科学芸術大学院大学費

## 事業名 【新】研究環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 情報科学芸術大学院大学 事務局教務課 電話番号：0584-75-6600

E-mail：c21905@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 300千円（現計予算額： 0千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	300	0	0	0	0	300	0	0	0
決定額	300	0	0	0	0	300	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・民間企業から本学教員に対する研究奨励を目的として、奨学寄附金の申込があった。
- ・奨学寄附金は、教育・研究の奨励を目的として大学等が受け入れる寄附金であり、他大学においても広く受け入れが行われている。
- ・そこで、本学においても寄附金の受け入れを行い、本学教員の研究環境の整備に活用する。

### (2) 事業内容

- ・民間企業からの奨学寄附金を受入れ、教員の研究環境整備に活用し、研究を加速する。
- ・企業との連携により、将来的な共同研究につなげ、産業振興・地域振興を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担なし。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	300	研究用機材の購入
合計	300	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

なし。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
情報科学芸術大学院大学において寄附金の受け入れを行い、教員の研究環境の整備に活用する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(R )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(R )	%

○指標を設定することができない場合の理由

奨学寄附金は、教育・研究の奨励を目的として受け入れる寄附金であり、政策的な指標は設定することができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 奨学寄附金の申込があった場合は継続して取り組む。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	